

【渡韓前準備について】

湖西大学には、日本人の留学担当の先生がおらず、4月末に書類を送ったのにもかかわらずビザに必要な入学許可証等は7月中旬ごろにやっと届きました。私は住所を静岡に移していたため、ビザの申請には横浜へ行かなければならなかったのですが、申請日時の予約がとても混雑し苦労しました。そのため、あらかじめ予約ができる日にちと時間帯をよく確認して、予約時間の30分前からスタンバイしておくと思いいます。また寮費の送金やピックアップの日時、授業の履修登録等、自分から聞かないと大学側は動いてくれないため早め早めの行動が大切だと思います。

【出国当日】

私は湖西大学から提示された入国日の3日間の内、2日目に仁川空港着の便に乗りました。航空券の予約に関して、初めての留学で荷物の量が想像できなかったのですが、規定の15kgに追加料金を払い、20kgで出国しました。意外に荷物が増えていたので課金しておいて良かったと思いました。ピックアップについては、私はLINEで連絡を取っていました。私は空港でSIMの受け取りがあったため、その点についても、事前に連絡していました。私はSIMの開通がうまくいかず、スマートフォンが使えない状態だったのですが、仁川空港にはフリーWi-Fiがあるので、もし同じ状況になった時には使ってみてください。大学の担当者から聞いていた出発時刻から30分以上経っても連絡がつかずとても焦りましたが、その後連絡は来たので、遅れてもあまり心配し過ぎず少し待てば大丈夫だと思います。

【寮について】

私は2人部屋を申請していましたが、部屋の空気が無いらしく4人部屋に案内されました。その代わり私以外の日本人も2人おり、後から来た日本人のルームメイトと情報交換ができたことは良かったと思います。寮費の差額は返してもらえますようですが、担当者の方も忙しそうで自分から言わないと忘れられてしまうため、きちんと自身で覚えておくことが大切です。外国人登録等の手続きについても日本人は担当者の方がおらず、分からないことだらけだったので同じ部屋の日本人とお互いの知っている情報を共有しながら手続きを進めていきました。外国人登録に必要なものは、背景が白の証明写真とパスポート、現金35000ウォンでした。現金を持っておらずルームメイトの日本人は困っていましたが、私は日本の空港で少しだけ換金していたため現金に関しては困らなかったです。ですが、そのルームメイトも大学内の銀行で換金はできていたため、レートは悪いかもしれませんが日本円があればとりあえずは大丈夫です。

【授業について】

授業は、韓国に着いた翌日に登録をしに行ったのですが、履修登録期間が過ぎているようで席のある授業が少なく、取りたかった授業も取れませんでした。日本にいる時から連絡はしていたのですが、韓国に来てからでも大丈夫と言われていたので、渡韓前の準備でも書いたように、もしも取りたい授業があるならば早めに連絡をしておくと思いいます。私は韓国語の授業4つと、教養科目の韓国文化探訪という授業を1つ、専門科目の白黒暗室実習という授業を1つ取りました。専門の授業は教授の

話すスピードも速く、専門用語もたくさん出てくるので難しいです。私は、たまたま日本へ留学していた韓国人の方が同じ授業にいたのでその方に助けてもらいながらなんとか授業を受けています。韓国語の授業は中級を取っていますが、内容的にはちょうどよいレベルです。

【交流活動について】

湖西大学では、申請すれば EMC やバディプログラムといった交流活動に参加することができます。大学内では、専門科目を取らない限り韓国人学生と交流する機会は限られるため、これらのプログラムの存在はとても大きいです。これらはカカオトークの留学生用オープンチャットに送られるフォームから申請可能です。私は先に来ていた日本人の先輩に聞いて知ったので、もしも参加したい場合は申請期間が過ぎる前にそのオープンチャットに入れてもらうよう担当の方に頼んでおくとい良いです。

EMC とは、日本に興味のある韓国人の学生に対して週に一度日本語等を教える活動です。日本のことを好きな生徒が来てくれるので、教えるというよりも楽しく会話をするような活動です。また賃金も発生するのでとても助かっています。

バディプログラムでは、韓国人 2 人と日本人 2 人でグループになって、週に数時間会ってご飯を食べたり遊びに出かけたりします。毎週私たちのために様々な予定を立ててくれていて楽しみです。

【最後に】

韓国に来てあっという間に 1 カ月が経ちました。最初は慣れないことばかりでしたが、それでも周りの方々が優しい人ばかりでいつも助けられています。この短い留学期間を後悔なく過ごすために、授業外の時間にも韓国語の勉強をし、なるべく外に出て色々な人と交流していこうと思います。

